

平成28年第17回教育委員会会議録

(要点筆記)

開催日 平成28年12月21日(水)

開催場所 名寄市役所 名寄庁舎 大会議室

出席委員 委員長 梅野博
委員 松田潤子
委員 中尾公一
委員 高橋雅樹
教育長 小野浩一

教育委員会事務局・その他機関の長等説明員

教育部長	小川 勇人
学校教育課長	河合 信二
参事(指導主事)	金谷 昭
生涯学習課長	仙石 徳志
スポーツ・合宿推進課長	松澤 大介
智恵文公民館長	岡村 美佳
風連公民館長	中山 勇人
児童センター館長	芝野 美記
北国博物館長	吉田 清人
市立名寄図書館長	鈴木 カヲル
なよろ市立天文台長	村上 恭彦
学校給食センター所長	小笠原 弘
学校教育課総務係長	伊藤 富貴子

傍聴人 2名

開会 午後3時00分

会議録署名委員の指名

中尾委員

別紙のとおり会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名委員とともに署名する。

委員長

署名委員

教育行政報告

教育行政についてご報告いたします

1 名寄市内小中学校長会・教頭会の開催について

- ・12月20日名寄市役所名寄庁舎において開催
- ・冬季休業期間中の児童生徒の交通安全教育や問題行動等の未然防止について指導の徹底
- ・平成29年度の全国学力・学習状況調査は国語、算数・数学での実施になるため、小中学校ともに全国平均を超えるよう、長期休業期間中も計画的な対応を依頼する
- ・教職員の勤務規律について、年末年始は飲酒の機会が多く酒気帯びや飲酒運転は絶対にしないように、また、わいせつ行為、体罰、金銭事故等不祥事防止の指導を徹底する
- ・体罰に係る実態把握について、依然として体罰事故が後を絶たないことから、今年度も児童生徒や保護者向けの調査が実施される
- ・適切な進路指導について、個人情報紛失、願書や個人調査書のみ提出することなど、事故のないようにチェック体制を整え、保護者、生徒に寄り添った丁寧なサポートを依頼する
- ・教科書発行者行動規範及び同Q & Aの制定について、昨年以來、教科書発行者と学校の間で検定申請中の教科書内容に係わり、金品の提供など不適切な事案があった。教科書採択の公正、透明性の確保に万全を期すよう周知徹底する

会務報告 教育部長から、前回の教育委員会議以降本日までの会務を報告

協議事項

議案第1号 第3次名寄市子どもの読書活動推進計画（案）について

〔図書館長〕 名寄市パブリック・コメント手続条例第3条第1号の規定に該当する「第3次名寄市子どもの読書活動推進計画（案）」の公表と意見提出手続きに関する事項並びに「第3次名寄市子どもの読書活動推進計画（案）」について承認を求める。

〔委員長〕 ソフト面とハード面の両方がないと機能しないと考える。両方の整備が必要。本を読まない環境になってきたが、テレビ、ネットだけではなく、本から得られる喜びを子どもたちが得られるよう、どういう図書館にするか、将来を見通した整備をお願いしたい。

〔松田委員〕 全国的には、家での読書冊数が若干上がっているが、学校や図書館ではどうか。司書に望むことは、小学生は「本がある場所を教えてほしい」が上位だが、中高生では安心できる居場所づくりが上位である。学校に行きたくないときの居場所となっている地域もある。図書館の意味合いも少しずつ変わってきているが、保護者や子どもたちから、今後どんなことをして欲しいか、アンケート等で情報があれば教えて欲しい。

〔図書館長〕 会議では今後どういった図書館づくりをするかはあまり話がでなかった。中高生が安心できる環境かといわれると現在はなかなかそういう雰囲気ではない。勉強だけの生徒は新しくできた「よろーな」や「エンレイ」を利用しているように思う。

〔委員長〕 保護者が読書をしているかも大きく影響する。保護者が読書できる環境づくりも必要。地域には図書館が絶対必要である。

〔図書館長〕 赤ちゃんから手にとって本に親しんでもらう。強制ではなく、楽しめるように。調べてみたいと思ったときに、すぐ本に手が出せるような環境づくりをしたい。

〔高橋委員〕 第3次読書活動推進計画の目玉は。館長の思いとは。

〔図書館長〕 基本的な姿勢は変わらないが、ネットやスマートフォンのみの情報で正しいか判断するのではなく、本は情報の真偽を確認するものでもあり、その一旦を担いたい。

〔高橋委員〕 活字もネットも両方必要という認識は、家庭での取り組みも必要。

[委員長] 本はいろいろな公共施設に置かれているが、図書館を拠点として、広く読書推進活動を行ってほしい。他に意見はないか。

————— 異議なく承認 —————

連絡事項等は省略

閉 会 午後4時20分